

○認知症グループホーム

・認知症グループホームって

認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供するサービスです。利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、認知症の利用者が、グループホームに入所し、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、食事や入浴などの日常生活上の支援や、機能訓練などのサービスを受けます。

グループホームでは、1つの共同生活住居に5～9人の少人数の利用者が、介護スタッフとともに共同生活を送ります。

・どのような仕事をするの

利用者をご自宅で過ごされていた日常生活をできるだけ利用者にやってもらえるように支援します。また利用者の健康管理やレクリエーションの企画・運営、利用者についてのケア会議や日々のミーティングがあります。

基本24時間体制なので日勤・夜勤があります。

・働く人の仕事と主な資格

	仕事内容	主な資格
介護職員	利用者への様々支援、話し相手やレクリエーション運営、ケア会議や利用者の生活状況の記録などを行います	介護職員初任者研修修了者（旧ホームヘルパー2級） 実務者研修終了者、介護福祉士、無資格で働くこともできますが事業所に問い合わせてみてください
計画作成担当者	利用計画を作成し、日常生活全般を支援します	介護支援専門員（ケアマネジャー）

ある認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の一日

7:00

起床・朝食・健康状態の確認

食事は、入居されている利用者が、介護職員の見守りのもとに、ご飯を研いだり、野菜を切ったりしてみんなで協力して朝食の準備をします。皆さんと一緒に食事をして後片付けもやります。職員は、利用者さんのやる行為を見守っています。



10:00

洗濯・室内清掃

利用者の皆さんで部屋の掃除、洗濯をします。身体の不自由な方もできることをやっています。

11:00

買い物・昼食の準備

利用者の皆さんで食事の買い物や昼食の準備をします。職員は利用者さんを見守りしながらどうしても部分は支援します。

12:00

昼食

皆さんで昼食を食べて、後片付けもみんなで行います。

14:00

午後の時間

ゆっくり午前のお茶を楽しみ、TVを観る人もいれば、体操したり、歌ったりします。皆さん思い思いの時間を過ごされます。日によっては、全員でレクリエーションをされます。レクリエーションは職員が先導して行います。

17:00

夕食の準備と夕食

朝食、昼食と同じように皆さんで協力して、食事を作り、皆さんと一緒に食べます。

職員は、できるだけ手を出さないで見守りを中心に行います。

19:00

入浴

できるだけ利用者さんで入浴してもらいます。

夜の時間をゆっくりと過ごしてもらいます。

ご自宅で過ごされていた日常生活を職員が支援するという一日の流れになります。